

まちづくりは人づくりから



動画視聴



公明党議員団
三宅 智加子 議員

災害につよい まちづくり

問 能登半島地震を踏まえ、被災地に対する支援や今後の災害に強いまちづくりに対する市長の

思いを聞きたい。

答 被災地への職員派遣や義援金、市営住宅の無償提供等の支援を続けていきたい。また、今後も、ハード、ソフトの両面から効果的・効率的な対策を実施し、災害に強いまちづくりの実現に取り組む。

問 災害対応における本市のデジタルトランスフォーメーション化（DX化）の現状について聞きたい。

答 気象庁からの気象データ等を一元管理する防災情報集約システムを整備するとともに、被災者の生活再建に迅速に対応する被災者支援システムの導入など、防災体制の充実を図っている。

地域企業の支援 （（仮称）大牟田市ビジネス サポートセンター）

問 イノベーション創出拠点 a u r e a 内に設置する、経営の効率化や技術開発、DX対応など中小企業が抱える課題に対しての相談や支援を行うワンストップ産業支援窓口の取組について聞きたい。

答 市と有明高専で配置をしている産学連携コーディネーターを継続し、新たに産業支

援コーディネーター及びDXアドバイザーを配置することにより、官民による支援体制を構築し、市内中小企業への支援を強化していきたい。

生命をはぐくむ まちづくり

問 国は令和4年に児童福祉法を改正し、児童虐待の相談件数の増加など、子育ての厳しい状況に対応するため、相談支援体制の強化を図ることとした。こども家庭センターの設置について聞きたい。

答 子ども未来室をこども家庭センターと位置づけ、母子福祉と児童福祉の一体的な相談支援をコーディネートする統括支援員を新たに配置し、体制強化を図っている。

再発言 こども家庭センターは、らふるの1階にあることの周知をお願いしたい。



こども家庭センター（らふる1階）

問 コロナ禍による献血会場等の減少で、職域献血等はまだ以前の状態に戻っていない。また、若い世代の献血の減少も懸念されているが、献血事業の現状について聞きたい。

答 全体としては、コロナ禍前に戻りつつあるが、安定供給のために幅広い世代に理解啓発を図っていきたい。

目指す都市像 ～人づくり～

問 目指す都市像に対する市長の思いを聞きたい。

答 人づくりをまちづくりの基本とし、これまで培ってきた様々な基盤や経験を生かし、新しい価値を創造していくことで、新たなまちの魅力や付加価値をまち全体で生み出すことにより、持続的に発展するまちの姿を表現し、市民の皆様とともに、その実現に向けて取り組みたい。

さらに、県を越えた、より広域的な自治体間の連携を積極的に働きかけ、有明海沿岸地域全体の発展を先導していくような都市を目指していきたいと考えている。

問 高校生等による青春祭の開催は、大牟田市の人づくりの観点からも継続すべき事業だと考えるが、次年度以降の取組について、市長の考えを聞きたい。

答 来年度以降は、高校生まちづくり部活推進事業として参加するメンバーの意見も聞きながら、学校の枠を超えた活躍を支援していきたい。